ARIB NEWS

一般社団法人 電波産業会
Association of Radio Industries and Businesses

No.1519 2026 年 11 月 9 日

ARIB の動き

第 32 回 ITS 世界会議江陵 2026 開催される

10 月 19 日（月）から 23 日（金）まで、韓国国土交通省、江陵（カンヌン）市主催の第 32 回 ITS 世界会議が Gangneung Olympic Park において開催されました。「Beyond Mobility, Connected World」をテーマに、世界各国から ITS 関係者や政府関係者が集まり、講演と展示が行われました。

ARIB が事務局を務める ITS 情報通信システム推進会議(以下 ITSF)は、ジャパン・パビリオン内に展示ブースを出展し、活動状況を紹介するとともに、これまでの成果をまとめたブックレットの配布を行いました。

【開催概要】

・開催期間	2026 年 10 月 19 日（月）～ 23 日（金）
・会場	江陵オリンピックパーク(Gangneung Olympic Park)
・参加者数	60,000 人以上*
・セッション数	180*
・参加地域	91 ヶ国・地域*

（* 閉会式での速報値）

ARIB から横山次長、渡部担当部長が参加



Gangneung Olympic Park［左：convention center、右：Gangneung Oval（スピードスケート場）］

10 月 19 日に開催された開会式では、江陵 ITS 世界会議組織委員会や江原道知事、欧米アジア 3 地域の ITS 組織代表からの挨拶に続き、欧米アジア各地域から来賓挨拶があり、アジア・太平洋地域を代表して警察庁長官官房審議官の波々伯部信彦氏が登壇しました。その後、クアルコム Korea からの講演や功労賞の表彰が行われ、最後に、江陵市長から挨拶が行われました。

10 月 20 日に開催されたセッション「Toward Building a Zero-Accident Society」では、東京大学教授の大口敬氏がモデレータを務め、トヨタ自動車株式会社の山本信氏が「Toward Zero Traffic Accidents and Mobility for All」と題して、一般社団法人日本自動車工業会と ITS Japan の連携や V2X の拡大、スマートポールの活用などについて講演を行いました。最後にセッション登壇者により、協調型 V2X の展開促進に向けた共同宣言「Joint Declaration on Advancing the Deployment of Coorperative-V2X for a Zero-Accident Society」が行われました。

10 月 22 日に開催されたセッション「From Pilots to Deployment: A Global Tour of Automated Driving」では、本田技研工業株式会社の前原勇人氏が、ホンダの事故防止や安全に関するアプローチや自動二輪事故防止に向けた取組、Connected Motorcycle Consortium(CMC)第 4 期に向けた活動の検討状況などについて講演を行いました。

10 月 23 日の総務省主催のセッションは、ITSF 国際協調専門委員会委員長の山本武志氏がモデレータを務め、「Challenges and Global Trends for the Implementation and Deployment of V2X Communications」をテーマに開催されました。本セッションでは、日米欧の政府や関係企業・団体から各地における V2X の検討状況とその継続的な運用に向けた課題について報告やパネル・ディスカッションが行われました。日本からは、総務省総合通信基盤局電波部新世代移動通信システム推進室の松尾優大氏が ITS 通信に対する総務省の役割や日本の V2X 実装状況、5.9 GHz 帯 V2X 実装に向けたスケジュール、実装後の運用維持が課題といった問題意識などを紹介しました。



警察庁 波々伯部氏



東京大学 大口氏



トヨタ自動車 山本(信)氏



本田技研工業 前原氏



ITSF 山本(武)氏



総務省 松尾氏

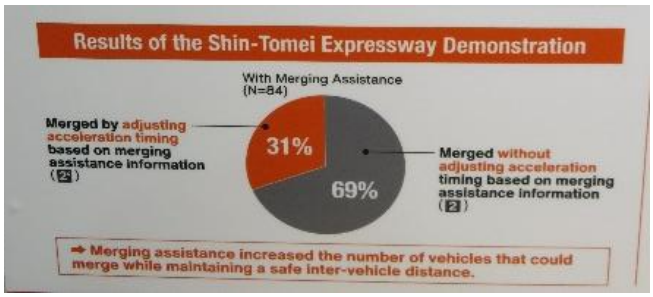
展示会場では様々な企業・団体による展示が行われました。ITSF はジャパン・パビリオン内に出展し、ITSF の概要や、総務省の実証実験などと連携したガイドラインや標準規格に向けた検討などを紹介するパネルを展示しました。

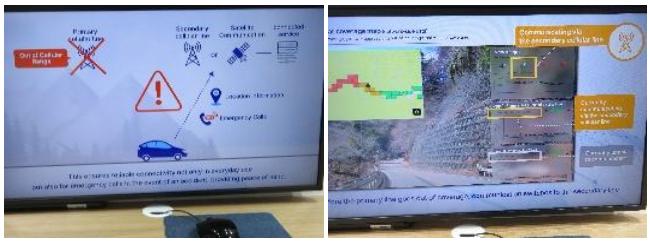
ジャパン・パビリオン内では総務省や国土交通省をはじめ複数の出展者が新東名高速道路での実証実験の成果の一部として合流支援や安全運転支援への V2X 利用による効果などを紹介していました。KDDI は携帯電話や衛星通信など複数の通信手段を自動的に切り換えることで通信を継続する試みを紹介していました。ITS Japan や豊田通商ではスマートポールを用いた歩行者・自転車事故防止に関する取組を展示していました。

トヨタではスマートポールや自転車用 700 MHz 帯 ITS システムに加え、自動運転技術、700 MHz 帯 ITS や Advanced-ITS のロードマップなどを展示していました。ホンダブースでは、内閣府 SIP 第 3 期実証実験で行っているスマートフォンを活用した自動二輪車向け安全支援システムやそれらのシミュレータなどを展示していました。

通信機器・チップ関係では、様々な出展者がクアルコムのチップを利用していることを紹介しており、特にクアルコムブースではトヨタと連携した 700 MHz 帯と 5.9 GHz 帯を実装したデュアルバンドチップが紹介されていました。

今年も自動車メーカーの展示参加が少なく、トヨタ、ホンダ及び Hyundai のみでした。欧米からの出展も少ない中、韓国の企業・団体が多数出展し、大規模な展示を行っていました。









ジャパン・パビリオンより
（上）総務省 新東名実証実験結果例
（下）KDDI 通信手段切り替え実験

ホンダブースより
スマートフォンを用いた安全支援





トヨタブースより
（左）クアルコム製デュアルバンドチップなど
（右）スマートポールと自転車向け ITS 通信デバイス





韓国企業の出展ブース例
Hyundai、Lotte Innovate

最終日にはクロージング・セレモニーが開催され、期間中の論文発表や講演セッションについて優秀表彰が行われるとともに、次回の ITS 世界会議が 2027 年 10 月 25 日～29 日にバーミンガム（英国）で開催されることが報告され、5 日間にわたる会議が幕を閉じました。



恒例の「パッシング・グローブ」セレモニー

ARIB 内会合(11 月 9 日～11 月 13 日)予定

11 月　9 日（月）：第 51 回調査統計小委員会　Web 会議併用
11 月 11 日（水）：第 344 回業務委員会　Web 会議併用
11 月 13 日（金）：デジタル放送システム開発部会　デジタル STL/TTL 作業班
NHK 放送技術研究所　Web 会議併用

国際会合(11 月 9 日～11 月 13 日)予定

参加を予定している会合はありません。

革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))基金事業
社会実装・海外展開志向型戦略的プログラム【事業戦略支援型】
に係る予備調査(第 6 回)

【令和 8 年 11 月 2 日発表】

総務省が国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)に造成した情報通信研究開発基金により実施する革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))基金事業のうち、社会実装・海外展開志向型戦略的プログラム【事業戦略支援型】に関して、公募対象とする技術分野の選定等の参考とするため、NICT において研究開発プロジェクトに関する予備調査を、令和 8 年 11 月 30 日(月)までの間、実施しています。

詳細については【令和 8 年 11 月 2 日の総務省報道資料】をご覧下さい。

ARIB
Association of Radio Industries and Businesses
ARIB NEWS 発行所 一般社団法人 電波産業会
〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
https://www.arib.or.jp E-mail arib_news@arib.or.jp